

支援困難評価表

支援困難度評価表(案)

機関名: _____

ケースNo.: _____

障害支援区分: _____

記載上の留意事項
 ・ご本人の日常の様子をよく知っている人が回答してください。
 ・保護的環境(例えば、病院に入院しているような状況)ではなく、例えばパート等で単身生活をを行った場合、又は入所や在宅で家族と同居であっても支援者や家族がいらない状況での状態を想定して
 重症度(本人への影響)
 0 なし 症状が存在しない
 1 軽度: 症状の存在は感じられるが、はっきりとした変化ではない
 2 中等度: かなり負担で処理するのが難しい
 3 重度: 大きな問題なく処理できない
 必要支援の頻度
 1 軽度: それほど大きな負担では無く、通常は大きな問題なく処理できる
 2 中等度: かなり負担で処理するのが難しい
 3 重度: 大きな問題なく処理できない
 介入による変化
 見守り「支援」には該当するが、「介入」には該当しないものとする。

カテゴリー	障害支援区分 認定調査項目	認定調査員マニュアルの具体例	必要な支援の頻度		重症度 (本人への 影響)	介護負担度 (周囲への 影響)			介入による変化	
			支援が 必要 が 不要	頻度 (週 回数)		軽 度	中 等 度	重 度	介入 が 不要	介入 が 必要
不安	被害的・拒否的	○実際は盗られていないものを盗られたという等、被害的な思い込みがある場合。 ○他者を信頼しない、相手の善意を疑う、話し合いや本人のためになされた提案を受け入れない等、他者に対して深く拒否的な場合。 ○配偶者や大切な人が浮気をしている。 ○施設に入れられる、罵倒を言われるなどと思いが強い。 ○嫌がらせをされた、悪口を言われたなどと思いが強い。 ○事実とは異なる話や、自分に都合の良いような話をしている場合。 ○感情の起伏により、感情が不安定な状態の場合。 ○夜に寝られなかった結果、日中寝てしまふ、夜になると活動的となり寝ようとしていない等、昼夜の生活が逆転すること、日中の生活に支障が生じている場合。 ○夜間の不眠や活動を改善するため、睡眠薬等を内服している場合。 ○言葉による暴力(暴言)と相手を傷つける暴力(暴行)のいずれか、あるいは両方が現れる場合。 ○些細なことで怒る。 ○何度も同じ話や同意を求めたり、独語を繰り返す場合。	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3
感情コントロール	作話 感情が不安定	○周囲が驚いたり、他者が迷惑となるような大声や奇声を出す場合。 ○物などを使って周囲に不快な音を立てる場合を含む。 ○大声でテレビや音楽を聴く。	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3
感情コントロール	大声・奇声を出す	○周囲が驚いたり、他者が迷惑となるような大声や奇声を出す場合。 ○物などを使って周囲に不快な音を立てる場合を含む。 ○大声でテレビや音楽を聴く。	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3
病識の低下・対人技能拙劣	支援の拒否	○支援者による支援や介助等を受け入れず、支援や介助等に支障がある場合。 ○支援や介助等の内容を理解できないため、支援を拒否する場合。 ○自分で何でもできると思いが強い、支援を拒否する場合。 ○色々なトラブルが起こっても、助言を聞き入れない。 ○歩き回る、車いすで動き回る、床やベッドの上で這い回る等、動き回る行動がある場合。 ○歩き回る、車いすで動き回る、床やベッドの上で這い回る等、動き回る行動がある場合。	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3
病識の低下・目当識・判断力	徘徊 落ち着きがない 外出して戻れない	○施設や自宅等で、しきりに外に出ようとしていたり、施設や自宅内で動き回る等、その場で行動に落ち着きがない場合。 ○施設や自宅等から外出すると、戻れなくなる場合。 ○施設等の建物、敷地内で、自分の部屋に戻れなくなる場合。 ○施設や自宅等の場所や周辺の地理を理解していない場合。	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 3

4-12	1人で出たがる	○外出する時には見守り等の支援が必要だが、1人で外出しようとするため目が離せない場合。 ○周囲の迷惑となったり、日常生活に支障が生じるような取集癖がある場合。 (集める物や方法は問わない。)	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-13	収集癖	○周囲の迷惑となったり、日常生活に支障が生じるような取集癖がある場合。 (集める物や方法は問わない。)	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-14	物や衣類を壊す	○物を壊す、衣類を破く、物や衣類を捨てる等の行動によって日常生活に支障が生じる場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-15	不潔行為	○手便(厠)など排泄物を弄ぶ、屑を撒き散らす、痰や唾を吐き飛ばす、便を触れた手で周囲の物に触る等の行動によって日常生活に支障が生じる場合。 ○風呂に入らない、汚れた服を着替えない。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-16	異食行動	○食べられないものを口にしたり、飲み込んだりする異食行動がある場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-17	ひどい物忘れ	○ひどい物忘れがあるために、日常生活に支障が生じる場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-18	こだわり	○特定の考え、物、人等に対する強いこだわりがあるために、スムーズに行動することができない等、日常生活に支障が生じる場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-19	多動・行動停止	○特定の物や人(対象が明確でない場合も含む。)に対する興味関心が強く、思いつくおどりにならないと多動になったり、その対象にこだわって動けなくなってしまう場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-20	不安定な行動	○生活場面において、目的や意味が理解できず、行動に支障をきたす場合。 ○予定や手続き、日頃から慣れている支援者や状況等が変わることが受け入れられず、突然大声を出したり、興奮する等のパニック状態になる等、行動が不安定になる場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-21	自らを傷つける行為	○不安、恐怖、集積等からかれて衝動的な行動がある場合。 ○自ら痛がるほど自分の体を叩いたり傷つける、頭蓋を抜く、手を切る、多量の薬を服用する等、自分の体を傷つける行為がある場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-22	他人を傷つける行為	○他人を叩く、髪を引っ張る、蹴る等、他人を傷つける行為がある場合。 ○壁を壊したり、ガラスを割ったりする等、他人を傷つける行為がある場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-23	不適切な行為	○服装や髪型が優先したり、適切な意思表示ができなかったり、判断能力が不十分だったりする等により、不適切な行為がある場合。例:急に他人に抱きつき、断りなく物を持ってきてしまう、他人をのぞき込む、急に他人に接近する。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-24	突発的な行動	○異性や子供に性的なことを言う、了解なく触る、下半身を露出する。 ○興味が強い物や人(対象が明確でない場合も含む。)を見つけたら、突然そこらへんへ走って行ってしまったり、突発的な行動がある場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-25	過食・反すう等	○過食や過飲、拒食、反すう等、食に関する行動上の問題がある場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-26	そう癖状態	○服が濡れて悲観的になったり、時には抑鬱気分により思考力が低下し、考えがまとまらないため、日常生活に支障をきたす場合。時に死にたいと書つたてぶりを示し、危険を防止するために誰かがそばについているなどの配慮が必要とされる場合。 ○気分の高揚により、活動性が亢進し、様々なことを思いつき、次々と行動に移すが、注意力が散漫であるため、その結果は失敗に終わることが多く、社会生活に影響を及ぼす場合。時に自尊心の肥大から、他者への攻撃性が高まり、暴力的になることもあるため、社会的な対応が必要とされる場合。 ○上記の状態が繰り返される場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-27	反復的行動	○ある考えに固執し、特定の行為を反復したり、儀式的な行為にとらわれる等により、動作に時間がかかり日常生活に支障が生じる場合。例:必要以上に手を洗う、必要以上に施設を確認する。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-28	対人面の不安緊張	○風呂に入る、トイレに行くなどの行動が止まらない、繰り返す。 ○人に会うと緊張状態になる、危害を加えられるのではないかと強い不安が生じる等のため、外出等ができなくなる場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-29	意欲が乏しい	○長期にわたって引きこもり状態である場合は、「5. ほぼ毎日(週5日以上)ある」を選択。 ○行動を計画したり実行したりする意欲が乏しいため、周から言われないと何もしないでいる場合。例:一日中横になっていたり、自室に閉じこもって何もしていない。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-30	話がまとまらない	○行動を促す他者からの働きかけが効いても動かない場合。 ○話の内容に一貫性がない、話題を次々と変える、質問に対して全く無関心ない反応が返ってくる等、会話が成立しない場合。 ○自分のしたい話を一方的に相手に伝わらずにしまう場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3

4-31	集中力が続かない	○集中力が続かないため、家庭内やその他の生活の場での役割や課題を最後までやり遂げられない場合。 ○現実にはそぐわない特別な地位や能力等が自分にあると信じて、それを主張する発言。 ○本人の現状の年齢や立場などにはそぐわない、過去の状態であるようにふるまう。 ○自分の強りを認めない、注意されると怒る。(例:仕事を転々としたり、事業所・サービスを頻繁に替える。)	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-32	自己の過大評価		1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-33	集団への不適応	○家族や家族以外の社会参加の機会を拒否したり、その場においても一緒に行動できない場合。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
4-34	多飲水・過飲水	○水中毒になる危険が生じるほど、水を大量に飲む又は飲もうとする場合。 無計画にお金を使う。(生活費や真糊的なお金の管理をしない、できない。)	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
追加1			1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
追加2		借金をする。家族・知人にお金を無心する。要求することなくかえす。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
追加3		子どもっぽくなり、年齢にそぐわない甘えや依存がある。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
追加4		自己中心的、口先ばかりで行動を伴わない。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
追加5		万引きする、盗む。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
追加6		他家や敷地に許可なく入り込む。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
追加7		止められているのに運転する。衝動的に行動するなどして危険を顧みない。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
追加8		マナーの悪い人や日常の他者の行動に、執拗に抗議や修正を求めたり、追いかけてまわしたりする。	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3
追加9		食べない。(例:こだわりが強く特定のものが食べない、意欲低下により一日一食しか食べない。)	1	2	3	4	5	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3